



# 校長だより

呉市立市阿賀小学校  
安宗 誠

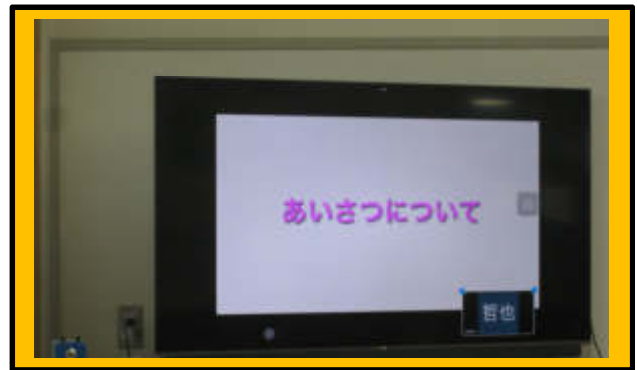


## あいさつは だれのために するもの？

今日の生活朝会（リモート）では、児童委員会の子どもたちが、わざわざ動画を制作し、気持ちのよいあいさつの仕方を示してくれました。

自分から気持ちのよいあいさつができて、相手からもあいさつが返ってきて、あいさつであふれるまちなれば言うことはありませんね。しかし、現実かというと、こちらがあいさつをしてもあいさつが返ってこない日常がないわけではありません。そんなとき、勿論、いい気持ちにはなりません。しかし、そもそも、あいさつ（挨拶）の語源は、「相手に向かう」「相手に心を開く」という意味なので、相手から例えあいさつが返ってこなくても、自分から進んであいさつができたことに価値があると考えたとよいのではないのでしょうか。あいさつが返ってこなかった相手のことを無礼だと思わず、こちらが進んであいさつができたことを良しとする。それは、つまり、相手に自分の心を開ける人として態度を磨いている。あるいは、育っている証拠でしょう。

また一方では、あいさつが進んでできるような子どもにするために、当然のことながら、「子供は大人の背を見て育つ」を周りの大人が日々実践する必要があることは言うまでもありません。



9月のブックフェアのテーマは、「月」です。図書室が一層すてきな図書室になっています。

2学期からはジョシユア先生が、ALT（英語指導助手）として、3・4年生の外国語活動に入っています。

